

言語障害特別支援学級 自立活動指導案

1 単元 ことばの学習をしよう

2 目標

	2学期個別指導目標	単元における個別指導目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・発音の明瞭度を高め、日常会話を明瞭に発音することができる。 自立活動 6 (2) ・相手の話を聞いて理解したり、自分の考えを進んで話すことができる。 自立活動 6 (3) ・目と手の協応性及び手先の巧緻性、運動能力を高めることができる。 自立活動 5 (5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話の中で「さ行、ざ行」を明瞭に発音することができる。 ・文章を明瞭な発音を意識して読んだり、質問に適切に答えたりすることができる。 ・バランス体操で体のバランスを保ちながら手足を動かすことができる。 ・短い文章を正確に視写したり書いたりすることができる。

3 指導について

(1) 教材観

ことば作りの基礎として体づくりが大切であると考え、Aは注視したり手足をバランス良く動かしたりすることが苦手であるので、身体を動かす活動を取り入れることでバランス感覚を養ったり、身体の緊張を取り除きリラックスした状態でことばの学習ができるようにしたいと考える。

正しい音作りの基礎として、口の体操や「あいうえおの歌」の音読を重視して行っている。口の体操では舌や口の形、動きを確認しながら舌、唇、あごをなめらかに動かせるようにする。また音読することでリズム良く音を意識させる。これらの活動により発声・発語器官の機能的な向上をめざす。

また構音練習と合わせて、ことば遊びをすることで語彙を増やしたりことばを通したコミュニケーションの楽しさを体得させ、人と交わる力を育てていきたいと考え本単元を構成した。

(2) 児童の実態

	実 態
A	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の時はゆっくりなので「さ行、ざ行」を正しく構音できているが、会話の中では発音が不明瞭になりがちである。 ・話すことは好きで、教師や教育補助員とは家の事や興味のあることを自分からよく話す。しかし出来事を説明したり、聞かれたことに答えたりすることは苦手である。 ・通常学級の中では緊張してしまう様子が見られ、クラスの友だちに自分から話しかけることは難しい。Aが困っている時は、周りの児童が声をかけてくれるが、お礼の気持ちを表現することが難しい。 ・学習面では、家庭で予習・復習をよく行っていることもあり基本的な計算や漢字などはよく身につけている。算数の文章問題などは苦手である。 ・身体面では、眼球運動のぎこちなさがうかがわれ、情報を視覚的に正確に捉えることが難しいと思われる。また、下肢の動きが安定せず、立位の保持が難しく、歩行のバランスが悪い。時間や周りを意識して行動することが難しく集団行動が遅れがちである。 ・委員会の常時活動や決められた仕事には真面目に取り組んでいる。 ・教育補助員は体育、家庭、音楽、など技能教科を中心に支援をしている。

(3) 指導観 (ユニバーサルデザインに迫るための手立て)

口の体操では鏡を使い自分の口形や発音の課題に気付かせ、意識して練習をさせたい。課題に気付かせる手立てとしてその都度ICレコーダーで録音しA児に聞かせる。

ことば遊びでは、「すごろく」、「なぞなぞ」、「3ヒントクイズ」、「3ヒントカルタ」、「ましたゲーム」などを通して楽しく学習しながら自分を表現する力を養っていききたい。

「ましたゲーム」では「絵カード」と「ましたカード」を組み合わせて文を作ることで、2語文でも正音が出せるよう、また助詞を上手に活用して文作りができることをねらっている。

「マイニュース」では出来事や体験したことを文章にし発表するという学習を通して、相手に分かりやすく話したり、質問に答えたりしながらコミュニケーション力を高めていきたい。

このように個別や少人数の学習の中で話すことに慣れ、自信を育てていきたいと考える。

また体のバランスが悪く動きがぎこちないAであるが、体を動かすことで学習にスムーズに取り組めるとい保護者の話も聞き、学習の前には運動課題を取り入れている。運動の内容は本児が理学療法で行っていることを参考にしている。バランス感覚を養うことをねらいバランスボール、ツイスターゲーム、手押し車、なわとびなどを交互に行っている。このように言語面だけでなく、身体面の課題を少しでも克服できるような活動を合わせて行っていききたいと考える。

学習の中でAの向上した部分を認め励まして、自信をもたせコミュニケーションに対する意欲を高めていきたい。

4 指導計画（8時間扱い）

○数字は本時

次	時	学習内容	評価規準
1	1~4 本時 ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスボール ・ 手押し車 ・ 口の体操 ・ ましたゲーム ・ マイニュース ・ ことば遊び (すごろく, 3ヒントクイズ, などなぞから選ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動課題に意欲的に取り組んでいる。(観察) ・ 学習に意欲的に取り組んでいる。(観察) ・ 会話の中で「さ行, ざ行」を明瞭に発音している。(観察) ・ 出来事や体験したことを分かりやすく伝える。(プリント, 観察) ・ ことば遊びを通して, いろいろなことばを覚えたり, 楽しく話したりしている。(観察)
2	5~8	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツイスターゲーム ・ なわとび ・ 口の体操 ・ 3ヒントかるた ・ マイニュース ・ ことば遊び (かるた, 動物の名前あてゲーム, 3ヒントクイズから選ぶ) 	

5 本時の指導

(1) ねらい

A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口形に気をつけて手順に従い口の体操ができる。 ・ 「ましたゲーム」を楽しく行うことができる。 ・ 「マイニュース」を分かりやすく伝えることができる。
---	--

(2) ユニバーサルデザインに迫るための手立て

- ・ 「マイニュース」では写真を用意し, 出来事を想起させたり作文の手がかりになるようにする。
- ・ ICレコーダを活用し, はっきりした話し方を意識させる。

(3) 準備・資料

音楽 CD, 口のたいそうの掲示物, ストップウォッチ, 絵カード, ましたカード, 写真, プリント, 3ヒントカード, すごろくセット, などなぞカード, ICレコーダー

(4) 展開

☆: ユニバーサルデザインを特に意識した支援

(評): 評価

配時	学習内容及び活動	ユニバーサルデザインの視点からの支援及び留意点・評価
2	1 始めのあいさつをする。 ・ 月日, 曜日, 天気を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の顔を見て, 元気よくあいさつができるようにする。 ・ 自由会話を通して, 気持ちを安定させ, 会話のスキルアップを図る。
1	2 本時の学習内容を知る。 ①運動 ②口のたいそう ③ましたゲーム ④マイニュース ⑤ことばあそび ⑥ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ☆課題の内容や順番をホワイトボードに明記し, 見通しをもたせるとともに本時の学習への意欲を高める。
8	3 手押し車をする。 ・ ストレッチをする。 ・ 黒板前から本箱まで行きタッチして戻ってくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かすことでリラックスして学習に取り組めるようにする。 ・ 音楽を流すことで, 楽しい雰囲気の中で運動をさせたい。 ・ 手押し車の前に軽いストレッチをし体を慣らすようにする。 ・ 教師が足を持ちながら励ましの声をかけるようにする。 ・ 手押し車では上手に手足を伸ばし, 進むことができたことを称賛し, 次の活動に意欲的に入れるようにしたい。 ・ 本児の体調を見て, 鼻がつまっている時はバランス体操に変更する。
5	4 「口のたいそう」をする。 (1) 口の開閉 (2) 舌の出し入れ (3) 舌の上下左右, 一周 (4) 舌平ら 30秒 (5) あいうえお	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「くちのたいそう」カードを見ながら行う。 ・ 鏡を見て, 舌や口の形や動きを確認するように助言する。 ・ 指3本を目安に口を開けることを確認する。 ・ 舌が平らになっているか鏡で確認するよう助言する。

今日の学習

運動

口のたいそう

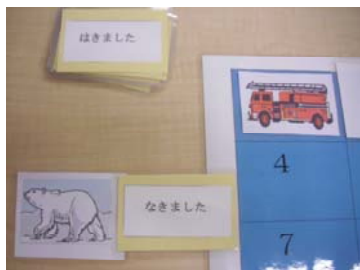
ましたゲーム

マイニュース

ことばあそび

ふりかえり

7 5 「ましたゲーム」をする。



- (1) 「絵カード」と「ましたカード」を組み合わせ、文を作り読む。
- (2) 意味が通じれば絵カードがもらえる。相手に文の意味が通るかどうかが判定してもらう。
- (3) 意味が通じないときは相手の番になる。

- ・どんなカードが出てくるか期待感を持たせるためブラックボックスに入れておく。
- ・「やり方カード」で手順を確認する。
- ・できた文を発表するとき、声が小さいときは相手に聞こえる声で話すことを伝える。
- ・できた文の意味が通じるかどうか A 児が迷っているときは一緒に考えるようにする。
- ・助詞を上手に使って文ができたときは称賛する。
- ・「～しました」の文をたくさん言うことで次のマイニュースの発表につなげたい。

(評) 手順に従い、ましたゲームを楽しんで行ったか。(観察)

1 5

6 「マイニュース」を発表する。

- (1) 写真にコメントを入れる。
- (2) 一番印象的だったことを短い文章にし、発表する。



- ・前週に行った合同学習「作品展見学」について扱うことにする。
- ☆写真を見せ、見学の時のことを想起できるようにする。
- ☆写真にコメントを入れることで、文作りの活動につなげたい。
- ・「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」「どんな気持ち」に従って文作りをする。
- ・助詞の間違い、誤字などがあるときは指摘し直すように声をかける。
- ☆発表の前に一度作文を音読し、それを IC レコーダーで録音し聞くことにより、はっきり読むことを意識させたい。
- ・前に出て作文を読んだ後に「質問はありませんか。」と言うようにする。
- ・教師が質問をし、それに答えることでコミュニケーション力を養いたい。

(評) 作品展見学で一番印象に残ったことを自分で決め、相手に分かるように伝えることができたか。(観察)

5

7 ことば遊びをする。

- ・ことばすごろく
 - ・3ヒントクイズ
 - ・なぞなぞ
- の中から一つ選ぶ

- ・Aは選ぶのに時間がかかるので実物を用意しておき、イメージがもてるようにする。
- ・遊びの活動では、発音の誤りを指摘しないで伸び伸びと楽しむ中で、指導者が正しい発音で読んだり話したりすることにより意識づけるようにしたい。

2

8 ふりかえりをする。

- ・よくできたことや頑張ったことについて称賛し、次時の学習に意欲がもてるようにする。

9 終わりのあいさつをする。

- ・相手(教師)の方を見てあいさつができたかを確認し、できたときは称賛する。